

証券コード:5411

株主の皆様へ

社長メッセージ >>



第16期中間  
2017年4月1日 >>> 9月30日



JFE

JFE ホールディングス 株式会社

JFE Group



## 激変する経営環境のなか 収益力強化に努めてまいります

株主の皆様には日ごろからJFEグループへの温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

初めに2017年度上期の決算の概要や、通期の見通しについてご説明いたします。

代表取締役社長 (CEO)

林田 英治

### 2017年度上期の業績概要

今年度上期のわが国経済は、輸出や企業収益が堅調に推移するとともに、設備投資の増加や経済対策に伴う公共投資の増加もあり、緩やかな回復基調となりました。海外経済は、引き続き欧米における経済政策の不確実性や中国経済の下振れリスク、地政学リスクの高まり等により先行きに不透明感はあるものの、米国を中心として全体的に緩やかな回復基調となりました。

鉄鋼事業においては、国内外の需要環境は回復基調

にあるものの、昨年秋以降の原料炭を中心とした原材料価格の高騰により大幅に製造コストが上昇しました。このような状況のなか、継続的に取り組んできた鋼材価格の改善が一定程度進捗したことに加え、コスト削減の取り組みや、棚卸資産評価差等の一過性の増益要因により、846億円の経常利益となりました。

エンジニアリング事業においては25億円の経常利益となりましたが、上期の受注は堅調に推移しました。商社事業においては、海外グループ会社の収益改善等により162億円の経常利益となりました。

以上の結果、グループ連結での上期の経常利益は1,014億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は870億円となり、前年同期に比べそれぞれ1,115億円、954億円増益となりました。

## 2017年度の業績見通し

2017年度の連結業績は、売上高3兆6,500億円、経常利益2,000億円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,500億円と、前年度に比べ増収・増益となる見通しです。

鉄鋼事業においては、国内では、自動車生産の増加や東京五輪に向けた都市再開発の本格化により、総じて需要は堅調に推移しています。海外についても、一部分野を除いて、全般的には堅調な需要が続いています。一方、原材料については、原料炭市況が未だ高い水準にあり、副原料等の諸物価も上昇しています。

このような事業環境のなか、販売価格については、再生産可能な収益水準の確保に向け、お客様にご理解を得られるよう丁寧に粘り強く説明しながら、引き続き価格改善に取り組んでおります。また、コスト削減についても、当中期経営計画の目標である3ヵ年1,100億円を達成するべく積極的な活動を推進しています。これらの取り組みにより、鉄鋼事業の

通期の経常利益は1,500億円となる見込みです。

エンジニアリング事業は、電力・ガス自由化に伴うエネルギー関連ビジネスや廃棄物処理プラントなどの環境・エネルギー分野、および橋梁や港湾設備などのインフラ構築分野を対象に積極的な受注活動を展開しており、経常利益は250億円となる見通しです。

商社事業においては、国内では東京五輪に向けての建築需要の確実な捕捉に加え、海外では中国・ASEAN・北中米地域の事業が堅調に推移すると見込まれることから、経常利益は290億円となる見通しです。

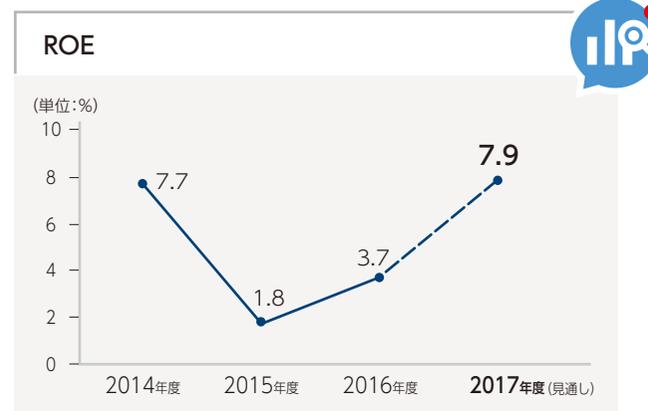
当年度は、2015年度より取り組んできた第5次中期経営計画の最終年度です。これまで、コークス炉・発電関連施設等の国内製造基盤の整備やコスト削減、海外事業の収益拡大を着実に進め、収益力の強化に取り組んでまいりました。2015年度、2016年度は、中国における

鋼材の供給過剰の影響やエネルギー関連需要の低迷、原料価格の高騰等の影響により厳しい事業環境となりましたが、足下ではROE(株主資本利益率)は、回復基調にあります。当中期財務目標(ROE 10%)の達成時期は少し後ろにずれ込むかもしれませんが、その達成に向けた取り組みをゆるぎなく進めております。

## 株主の皆様へ

こうした収益状況を受けまして、中間配当につきましては1株当たり30円とさせていただきます。当社グループは引き続き収益力の強化とすべてのステークホルダーの皆様にとっての企業価値最大化に取り組んでまいります。今後とも一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年11月  
代表取締役社長(CEO)  
林田 英治



	2016年度 通期	2017年度 上期	2017年度 通期見通し
			(単位:億円)
売上高	33,089	<b>17,253</b>	36,500
経常利益	847	<b>1,014</b>	2,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	679	<b>870</b>	1,500
総資産	43,360	<b>43,432</b>	—
純資産	19,218	<b>19,788</b>	—
			(単位:%)
ROS*1	2.6	<b>5.9</b>	5.5
ROA*2	2.3	<b>5.0</b>	4.9
ROE*3	3.7	<b>9.2</b>	7.9
自己資本比率	43.0	<b>44.2</b>	—
D/Eレシオ*4	51.4	<b>49.3</b>	48.5

※1 ROS=経常利益/売上高

※2 ROA=(経常利益+支払利息)/総資産 上期ROA=(経常利益+支払利息)×2/総資産

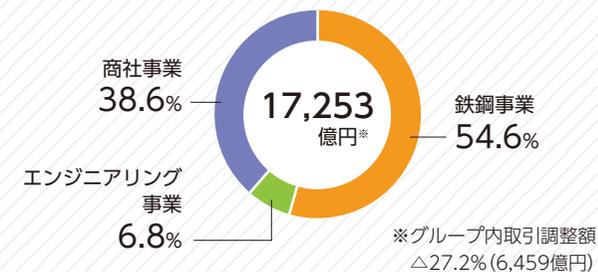
※3 ROE=親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本 上期ROE=親会社株主に帰属する当期純利益×2/自己資本

※4 D/Eレシオ=借入金・社債等残高/自己資本(格付評価上資本性を併せ持つ負債について、格付機関の評価により、資本に算入)

□ 売上高の事業別内訳/増減 (単位:億円)

	2016年度 通期	2017年度 上期	2017年度 通期見通し
鉄鋼事業	23,491	<b>12,947</b>	27,200
エンジニアリング事業	4,261	<b>1,602</b>	4,200
商社事業	16,710	<b>9,162</b>	18,300
調整額	△11,373	<b>△6,459</b>	△13,200

□ 2017年度上期売上高構成比



□ 経常利益の事業別内訳/増減 (単位:億円)

	2016年度 通期	2017年度 上期	2017年度 通期見通し
鉄鋼事業	405	<b>846</b>	1,500
エンジニアリング事業	266	<b>25</b>	250
商社事業	218	<b>162</b>	290
調整額	△42	<b>△20</b>	△40



鉄鋼事業  
JFEスチール株式会社

ベトナム一貫製鉄所  
プロジェクト  
第一高炉火入れ



台湾プラスチックグループが出資し、JFEスチール(株)が資本参加と技術協力を行っているベトナムのFormosa Ha Tinh Steel Corporation(以下、「FHS社」)において、2017年5月29日、第1号高炉(炉容積:4,350m<sup>3</sup>)の火入れが行われました。ベトナム初の大型一貫製鉄所として順調に操業しており、ベトナム国内のお客様を中心に、販売も堅調に推移しております。

FHS社では、大型一貫製鉄所プロジェクトの第1期として、総投資額105億USドル、敷地面積2,000ha強、粗鋼生産量約700万t/年を計画し、これまで各種設備の建設を進めてきました。2015年9月の当プロジェクト参画以来、FHS社に対し、鉄鋼メーカーとして長年培った安定操業・品質向上など

の知見を、社員派遣や技術協力によって提供しています。また、環境保護や安全対策、リサイクル技術などに関する各種提案も行っています。

現在、ベトナムだけでなく他のASEAN地域でもインフラ建材を中心に鋼材需要のさらなる拡大が見込まれています。JFEスチール(株)は今後、同社の技術を活かして生産したFHS社製の鋼材を、“JFEブランド”として同社からASEAN地域の出資先やお客様に販売することで、成長に結び付けていきます。引き続き、生産・品質の管理を中心にFHS社への支援を継続してまいります。

火入れって何のこと?

鉄鉱石や石炭を投入して熱風を吹き込み鉄を取り出す高炉に初めて火を入れ、稼働を開始すること。構造上高温を保たねばならないので、高炉の火は次の改修まで落とすことができない。



第一高炉  
火入れの様子



ここに注目



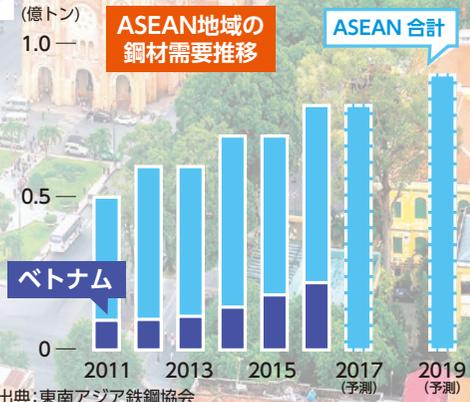
高炉の火入れと同時に、ベトナムに赴任し、製鋼工程における生産・品質に関する技術支援を担当しております。JFEスチール(株)がこれまで蓄積した高度な品質保証・管理手法はFHS社の現場スタッフにも強く支持されており、大きな期待が寄せられています。文化や言語が違う現地スタッフとともに、当社と同等の高品質な鋼材を“JFEブランド”として一日も早くお客様にお届けできるよう取り組んでまいります。

JFEスチール(株) (FHS 冶金技術部出向)  
井戸 洋晴

プロジェクト所在地 (FHS社)

ASEAN地域の  
鋼材需要を捕捉

ASEAN  
地域  
マーケット



# エンジニアリング事業

JFEエンジニアリング株式会社

## 日清オイリオグループ(株)の全国の工場向けにエネルギー供給事業を受注

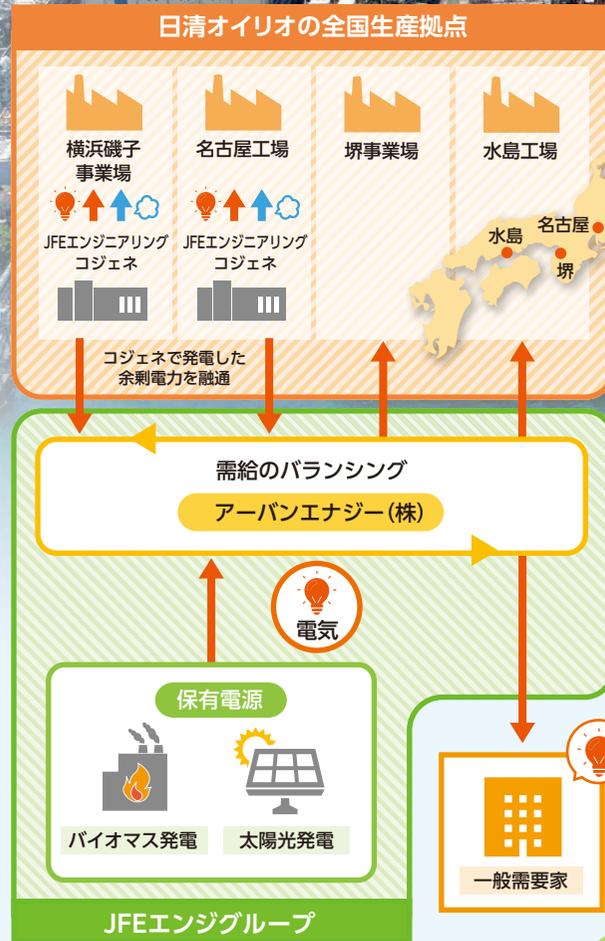


ガスコージェネレーションシステム 完成予想図

国内初のエネルギー一括供給サービス事業

JFEエンジニアリング(株)は、日清オイリオグループ(株)の全生産拠点を対象に、電力や熱をはじめとするエネルギーを最適なバランスで供給する事業を受注しました。このように全国に広がる拠点に対し、エネルギーの融通や調整を行う事業は国内初となります。

日清オイリオグループ横浜磯子事業場・名古屋工場の敷地内に、発電所(ガスコージェネレーションシステム)を建設・所有・運転し、15年間にわたり電力と熱を供給します。また同発電所で生産した電力をJFEエンジニアリンググループの電力会社アーバンエナジー(株)を活用し、日清オイリオグループ堺事業場・水島工場へ融通し、過不足の調整を行います。



電気の流れ → 蒸気の流れ →  
※コジェネ:ガスコージェネレーションシステムの略称

**ガスコージェネレーションシステムとは:**  
天然ガスを使って、電力と熱を生産し、供給する設備のこと。  
これまで燃料を使って発電する場合、電力に変えることのできるエネルギーは5割前後で、残りは廃熱となっていました。ガスコージェネレーションシステムではその廃熱を取り出し利用することができるため、省エネルギー効果や熱生産でのCO<sub>2</sub>削減効果が期待できます。

コジェネって何のこと?

日清オイリオグループ  
CO<sub>2</sub>排出量  
約17%削減  
(2015年度比)

ここに注目

person

今回のエネルギー供給事業によって、日清オイリオグループ(株)のCO<sub>2</sub>排出量が年間約17%削減されます。この環境負荷低減効果がお客様に高く評価されました。

今回の事業は、当社にとって今後のエネルギー事業の展開の大きな「礎」となる案件です。

当社はこれまで、全国各地での廃棄物発電プラントの建設や、バイオマス発電所等の運営を行ってきた実績があります。また、グループ会社に電力会社アーバンエナジー(株)を有しており、再生可能エネルギー電力の小売事業が可能です。今後、このような幅広く豊富な技術力と経験を活かし、全国の食品・化学メーカー、病院など幅広い分野のお客様へ同様のエネルギー一括供給サービスを提案し、事業の拡大を目指してまいります。

JFEエンジニアリング(株)  
事業企画本部  
電力ビジネス事業部  
太田 涼





# 商社事業

## JFE商事株式会社

現地ならではのビジネス創出にチームワークの良さを活かす。明るく元気な現地ナショナルスタッフをご紹介します。



ここに注目

### person

フィリピンは世界第4位の造船大国です。私は入社後、大手造船会社向け厚板鋼板営業のアシスタントを担当し、ダイナミックなビジネスの裏にあるお客様への細やかな対応の必要性を学びました。培った経験を活かし、現在は缶用鋼板のお客様を担当しています。お客様との取引交渉では、いかにお客様とJFE商事(株)東京本社双方の要望を取り入れ、提案できるかが営業の腕の見せどころです。良い提案には幅広い知識が必要となることから、これまで鉄鋼業界の商慣習や担当品種はもちろん、当社が扱う他品種も同様に、知識を多角的に広げる努力を続けてきました。

もともと私はフィリピン国内のマスメディア企業から転職してきたため、入社当時は、フィリピンと日本にまたがるグローバルな業務の中で文化の違いを感じ、戸惑いました。時には時間感覚などの違いにより、フィリピンのお客様と東京本社で納期等の要望がなかなか一致せず、交渉が難航したこともありました。フィリピンの文化や事情を良く知る私だからこそ、お客様の目線に立った提案ができると考え、お客様の事情を良く理解して東京本社に伝えるとともに、培った知識を活かしてお互いが納得できる提案をするよう努めています。今後もお客様に寄り添った営業を大事にし、伸びゆくフィリピンの市場でビジネスチャンスを捉えていきたいと考えています。

フィリピンJFE商事会社は1957年に川鉄商事(当時)初の海外拠点であるマニラ支店としてビジネスを開始。JFEスチール(株)子会社の焼結鉱メーカー(PSC)との資機材・原料等の取引や造船鋼材・缶用鋼板の販売を中心に、経済発展の目覚ましいフィリピンで着実にビジネスを拡大しており、2016年度は過去最高益を達成しました。

※PSC: Philippine Sinter Corporation



フィリピンJFE商事会社  
リン ネル バスバス  
Lyne Nel A. Basbas

# ジャパン マリンユナイテッド株式会社

## 「シップ・オブ・ザ・イヤー 2016」大賞受賞

ジャパン マリンユナイテッド(株)有明事業所が川崎汽船(株)向けに建造した自動車運搬船“DRIVE GREEN HIGHWAY”が「シップ・オブ・ザ・イヤー2016」大賞を受賞しました。本船は7,550台積みの大型自動車運搬船で、様々な低燃費技術を採用することにより、輸送車両1台当たりのCO<sub>2</sub>排出量が大幅に改善しています。

現在、海運業界では環境負荷に対する新しい国際ルールが適用され、環境規制が厳しくなっています。同社は1,000人規模の技術社員による開発・設計力や、自社独自の技術研究所と優秀な研究員、ならびに今まで培ってきた機器メーカーとのコネクションを最大限に活用することで、国内最先端の環境技術による各種船舶を建造しています。

本船はこうした環境先進技術を結集させ、新しい国際ルールを先取りした、最新鋭の次世代低燃費・低排出船です。

最新鋭の低燃費・低CO<sub>2</sub>排出自動車運搬船

新しい国際ルール  
船舶から排出される排ガス中の大気汚染物質(SO<sub>x</sub>、NO<sub>x</sub>)を削減するルール。NO<sub>x</sub>については既に適用されており、SO<sub>x</sub>については2020年適用の見込み。



社外役員の  
インタビュー  
を掲載



### CSR報告書2017を発行

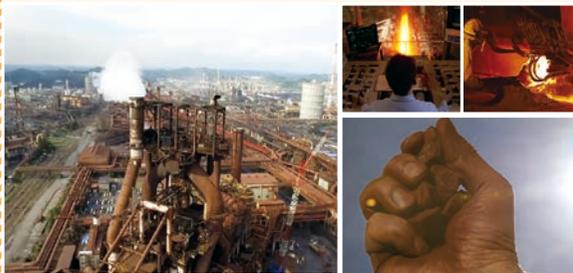
本報告書では、CSR重要課題を特定し、JFEグループの事業活動における環境および社会的側面についてご紹介しています。

HOME→CSR(社会・環境)→CSR報告書ダウンロード

<http://www.jfe-holdings.co.jp/environment/index.html>

### 「映文連アワード2017」の優秀企画賞を受賞

JFEスチールの会社紹介映像が、「映文連アワード2017」(主催:公益社団法人映像文化製作者連盟、後援:文部科学省、経済産業省 他)において「特別表彰(優秀企画賞)」を受賞しました。迫力ある映像と音楽、印象的な字幕を駆使し、鉄の誕生～再生を表現したストーリー性のある内容となっています。是非ご覧ください。



JFEスチール会社紹介映像



YouTubeはこちら  
<https://m.youtube.com/watch?v=cVW5iarOV7Ez>

### 会社概要 / 株式の現況 (2017年9月30日現在)

名称(商号) JFE(ジェイ エフ イー)  
ホールディングス株式会社  
[英文名称: JFE Holdings, Inc.]  
本店所在地 〒100-0011  
東京都千代田区幸町二丁目2番3号  
電話 03(3597)4321(代表)  
設立 平成14年9月27日  
資本金 1,471億円

発行可能株式総数 2,298,000,000株  
発行済株式総数 614,438,399株  
株主数 219,899名

### 株主メモ (2017年9月30日現在)

決算期 3月31日  
定時株主総会 6月に開催  
定時株主総会および  
剰余金の配当基準日 3月31日  
中間配当基準日 9月30日  
1単元の株式の数 100株  
株主名簿管理人および  
特別口座管理機関 〒103-8670  
東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
公告の方法 電子公告  
【アドレス】 <http://www.jfe-holdings.co.jp/>

### 経営体制 (2017年9月30日現在)

◎取締役	◎監査役
代表取締役社長 林田 英治	監査役(常勤) 津村昭太郎
代表取締役 柿木 厚司	監査役(常勤) 原 伸哉
代表取締役 岡田 伸一	監査役(社外) 伊丹 敬之
取締役 織田 直祐	監査役(社外) 大八木成男
取締役 大下 元	監査役(社外) 佐長 功
取締役(社外) 前田 正史	
取締役(社外) 吉田 政雄	
取締役(社外) 山本 正巳	

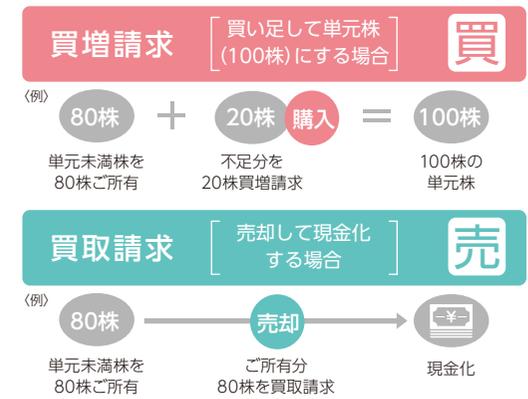
◎執行役員

社長	林田 英治	CEO(最高経営責任者)
副社長	岡田 伸一	CFO(最高財務責任者)
		総務部、IR部、財務部の統括、企画部の担当
専務	寺畑 雅史	総務部の担当
常務	大木 哲夫	IR部、財務部の担当

### 株式のお手続きに関するお知らせ

#### ●単元未満株式の買増・買取制度について

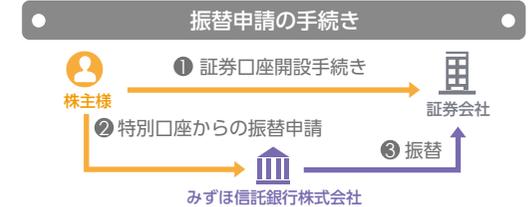
100株に満たない株式(単元未満株式)は市場では売買することはできません。以下の方法にてご所有の単元未満株式を整理することができます。



証券会社等に口座を開設されている株主様は、お取引証券会社等にご連絡ください。それ以外の株主様は、みずほ信託銀行株式会社証券代行部(下記)にご連絡ください。

#### ●特別口座から証券会社等の口座への振替について

特別口座に登録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式の当社への買増・買取請求を除く)ので、証券会社に取引口座を開設して、開設された口座に株式を移し替える手続き(振替申請)をお勧めします。



●お問い合わせ先 みずほ信託銀行株式会社証券代行部

☎ 0120-288-324 (平日9:00~17:00)

# 知ってる JFE?

AIって何のこと?

Artificial Intelligenceの略で、学習や予測など、人間の脳が行っている知的活動をコンピュータで実現する技術のこと。人工知能。

## 製鉄製造設備のメンテナンス業務にAI技術を導入

国内鉄鋼業界初!

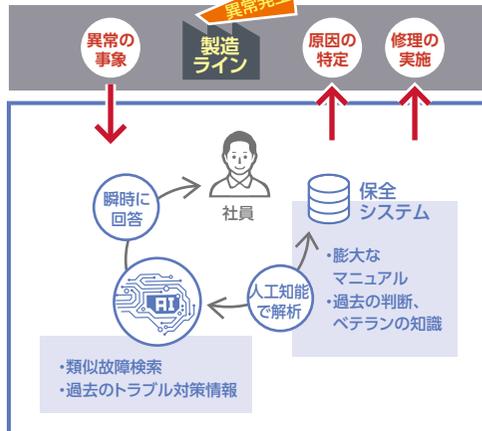
このたび、JFEスチール(株)は製鉄製造設備のメンテナンス業務にAI技術を導入することと致しました。設備の故障が発生した場合、生産に影響が出ないよう迅速な復旧が求められますが、これまで故障原因の特定にはベテラン社員の経験に基づいた知識や判断が不可欠でした。

今回導入するAI技術では、これまで蓄積してきたベテラン社員のメンテナンス実績や、多くのマニュアルをデータベースに取り込み、今起こっている異常現象をAIにより照合させます。これにより経験が比較的浅い社員でも未経験の情報が示唆されるなど、復旧に有用な情報を迅速に引き出すことができ、復旧時間の短縮が可能となります。現在、試験的に導入しており、一定の効果が認められたことから2018年度中をめどに全製鉄所・製造所で導入を進めてまいります。

現場担当者の声

製鉄製造設備は24時間体制で稼働しており、私達は交代で設備を見守っています。効率的な故障原因の特定のために職場でも世代交代が進む中、何とかしたいと考えていました。今回導入するAIシステムは、膨大な過去の故障情報から熟練者の知見をうまく引き出すことが出来ます。今後、熟練者の知見を若手社員と共有し、故障対応のスキルアップを図っていきます。

JFEスチール(株)  
倉敷地区制御部 作業長 嶋村 康弘



### 攻めのIT経営銘柄選定!

2017年5月、JFEグループは戦略的なIT活用に積極的に取り組む企業として高い評価を受け、経済産業省と東京証券取引所が認定する「攻めのIT経営銘柄」に3年連続で選ばれました。

- 選定のポイント
- ・鉄鋼事業: 保全管理システムを全社で統合し、管理データやノウハウを共有
  - ・エンジニアリング事業: 廃棄物処理施設の遠隔監視システム(ハイパーリモート®)導入を通じ、お客様へ施設の安定操業を提案

2017年4月  
銀座  
中央通りに  
ニューオープン



## 東京・銀座に「サイクルツリー」完成

JFEエンジニアリング(株)は、銀座の新しいランドマーク「GINZA SIX」ならびに隣接する区立駐輪場に機械式立体駐輪場「サイクルツリー」を納入しました。「サイクルツリー」は、同社がこれまで培ってきた立体自動倉庫や搬送システム、下水道・トンネル工事等で採用されているアーバンリング工法(圧入ケーソン)などの技術を活用しており、ボタン一つでのスピーディーな出入庫や、省スペースで大容量の自転車収容能力が特徴です。これまでに大手町フィナンシャルシティグランキューブ、大名古屋ビルヂング、枚方T-SITE、福岡パルコ新館など全国24カ所に納入しており、納入・稼働実績は同社が国内No.1を誇ります。



詳しくは  
<http://cycle-tree.jp/about/#movies>